

2019年度 第1回職員研修 実施報告

日 時 2019年7月28日(日)

会 場 訪問の家 朋

研修対象者 県重心協加盟各施設に勤務する3年未満の職員(職種問わず)

テ ー マ 「利用者にとってより良い支援」

ね ら い ○重症心身障害児者支援の基本姿勢を学び、

利用者本人の「思い」に寄り添った支援を考える。

○現場における支援者自身の支援方法・内容を振り返る機会にする。

○福祉職員として、チームケアの一員として求められる役割について学ぶ。

プログラム ○事前課題「あなたの施設の良いところ」

各施設、自身の施設について5～8分程度で発表

○グループワーク

受 講 者 県重心協加盟施設 16施設 35名の参加

ま と め

AMは事前課題として、「あなたの施設の良いところ」を、各参加施設につき1つの発表を行いました。パソコンでの施設の概要の紹介、先輩職員や施設長からのコメントビデオ、模造紙に書き込んだ外出先の様子や、歌の披露等・たくさんのユニークで参考になる発表が聞かれて、和やかな雰囲気となりました。

アンケートでは「自分の施設以外を見たことがほとんどなかったので、共通点や違いを見ることが出来て良かったです。」や「いろいろな場所に同じような施設があることを知り、仲間がたくさんいると感じとても嬉しかった。」等の意見が聞かれました。(アンケート抜粋)

PMはKJ法を用いたグループワークを行いました。「利用者にとってより良い支援とは？」と「より良い施設とは？」の2つのテーマに、初対面同士とは思えない様な積極的な意見が出ていました。

アンケートでは「似たようなことを行ってもそれぞれの施設でやり方が違っていたり、それぞれの場所の良い所をいろいろ聞くことが出来て面白いと思った」や「普段は病院で働いているので病院とは違った施設内での様子が聞けて良かった。施設によって取り組みもそれぞれ違い勉強になった。」等の意見が聞かれました。(アンケート抜粋)